

第17回高知県がん対策推進協議会 議事録要旨

1. 日時 平成27年1月8日(木) 19:00~20:10
2. 場所 県庁1階 正庁ホール
3. 出席者 協議会委員 17名(1名欠席)、事務局 4名
4. 議事 (1) 第2期高知県がん対策推進計画について
(2) 高知県がん診療連携推進病院の指定に関する要綱について
(3) がん登録の推進に関する法律について

5. 議事概要

会長の議事進行により、以下の事項について、事務局からの資料について説明が行われ、委員からの主な意見は次のとおりでした。

《(1) 第2期高知県がん対策推進計画について》

- ①禁煙事業の取組状況についての質問があり、「ノンスモーカー応援施設」は禁煙を実施している施設、「空気もおいしい禁煙・分煙店舗」は、飲食店で禁煙を実施している施設である。また、「とさ禁煙サポーターズ」事業として、禁煙指導のための人材育成を行い、禁煙支援の活動を支援していただいていることを説明。
- ②がん相談員の研修について、国立がん研究センターで位置づけられた相談員研修は、応募者多数のため受講できない状況があると委員から意見があり、今後、国立がん研究センターで相談員指導者研修を受講した相談員が、県内でがん相談員の研修を実施していくという研修体制に変わっていくことを説明。
- ③在宅緩和ケアの研修会を、中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラムとして実施しているので実績として掲載可能かとの意見があり、掲載することを確認。
- ④医師の高齢化に伴い医療水準維持のための人員不足が予測されているため、その部分も考えながら医療水準の維持・向上の対策を検討していくことも大切であるとの意見があった。

《(2) 高知県がん診療連携推進病院の指定に関する要綱について》

- ①事務局から提案された資料2「がん診療連携推進病院指定要綱案」についての修正意見はなく了承された。
- ②がん医療水準の向上に向けて、あき総合病院も医療が充実してきているので、二次医療圏でのがん診療の拠点となれる可能性があるのではないかと意見があり、地域がん診療病院としての申請を将来的に検討中であると聞いていることを説明。
- ③事務局からがん診療連携拠点病院の最近の国の方向性について情報提供を行った。
国はがん医療水準の均てん化を目標として今まで施策を実施してきたが、全ての医療機関を同じように充実していくことが難しいとの考えから、今後は均てん化とは違い医療機関の連携を図って医療水準向上をするための施策も行われると思われる。
高度な医療を提供する病院を中心として、他の病院も活用できるようにしていくことも検討されている。

《(3) がん登録の推進に関する法律について》

- ①事務局から資料3「がん登録等の推進に関する法律の概要」について説明。
- ②全国がん登録に移行すれば現在実施している生存確認調査はどうかとの質問があり、死亡情報が国で一括集約されることから、個別に市町村に照会をかける必要はなくなることを説明。

《(4) その他》

・森田委員から高知医療センター島田医師は国立がん研究センターに勤務していた経歴があり、オブザーバーとして、案内してはどうかとの提案あり、了承。

以上をもって議事全部を終了、20時10分に閉会。